

価格競争入札の落札決定の流れ(工事:最低制限価格設定案件)

落札候補者

定型最低制限価格を下回るか

定型最低制限価格(税抜) = 直接工事費 × 97% + 共通仮設費 × 90% + 現場管理費 × 90% + 一般管理費等 × 55%  
 (その額に1,000円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)  
 (予定価格(税抜)の70%~90%の範囲)  
 ※失格基準価格(定型最低制限価格(税抜) × 95%)を下回る場合は失格

<下回らない場合>

落札

<失格基準価格以上で、定型最低制限価格を下回る場合>

変動型最低制限価格を算出

※変動型最低制限価格(税抜) = 入札参加者全ての平均の95%  
 (その額に1,000円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)  
 (定型最低制限価格(税抜)の95%~予定価格(税抜)の90%の範囲)  
 ※定型最低制限価格(税抜)の95%未満の場合は失格基準価格を採用するため、1,000円未満の端数は切り捨てない。  
 ※入札参加者全てには、予定価格を超える者及び定型最低制限価格の95%未満の者を含めない。

最終的な最低制限価格の決定

定型最低制限価格と変動型最低制限価格を比較し少ない額が、最終的な最低制限価格となる。  
 ※パターン① 定型最低制限価格 ≤ 変動型最低制限価格  
 最終的な最低制限価格 = 定型最低制限価格  
 ※パターン② 定型最低制限価格 > 変動型最低制限価格  
 最終的な最低制限価格 = 変動型最低制限価格

落札候補者が最終的な最低制限価格を下回るか

<下回らない場合>

落札

<下回る場合>

次順位者を  
落札候補者

<具体的な事例>

	工事①	工事②	工事③
予定価格	2,000万円	2,000万円	2,000万円
定型最低制限価格	1,700万円	1,700万円	1,700万円
定型最低制限価格95%	1,615万円	1,615万円	1,615万円
A社	1,400万円	1,400万円	1,500万円
B社	1,500万円	1,500万円	1,550万円
C社	1,650万円	1,630万円	1,600万円
D社	1,700万円	1,700万円	1,650万円
E社	1,850万円	1,700万円	
F社	2,000万円	1,800万円	
入札参加者全ての平均	1,800万円(4者)	1,707万5千円(4者)	1,650万円(1者)
変動型最低制限価格	1,710万円	1,622万1千円	1,567万5千円
最終的な最低制限価格	1,700万円	1,622万1千円	1,615万円
結果	A社、B社、C社失格、D社落札	A社、B社失格、C社落札	A社、B社、C社失格、D社落札